

改修用

避難口

ニューシティハッチ SRA-G

今すぐ
お確かめください。



(社)全国避難設備工業会承認品
枠 承認番号 カH-23
カf-02



総務大臣承認 国家検定合格品
梯子 検定番号 は第19～6号
は第18～6号
は第19～18号
は第19～13号
は第19～14号
は第20～3号



(財)日本消防設備安全センター認定品
救助袋 認定番号 ふV-001-1号



yoshiike

避難用ハッチは、イザという時に

建物の経年に伴い、ベランダに設置されている避難用ハッチも老朽し錆や腐食が見受けられる事があります。定期点検の際に、劣化が進み緊急時に確実に作動しない状況や上蓋下蓋が腐食により変形破損するおそれがあると判断された場合は早急の改修が必要です。イザという時役に立たないばかりが大変危険です。吉池製作所の「改修用避難ハッチ SRA 型」は、枠はステンレス製で抜群の耐久性、上下蓋は連動同時開閉式、はしごはワンタッチの簡単操作で巻き上げ機能付きです。施工方法も既存のハッチの上蓋下蓋などを取り外しカバー工法で改修用ハッチを取り付けるだけですから施工は簡単です。避難ハッチの点検から工事完了までの作業期間も大幅に短縮できます。



工事までの流れ

STEP 1

消防設備士（専門スタッフ）等により避難ハッチの点検を行います。

STEP 2

点検の結果、使用不可能な場合には早急な改修工事をお薦めします。

STEP 3

詳細な打合せをし注文をお請けした後、既存ハッチの採寸をします。

STEP 4

採寸に基づき、工場にて一台一台製作します。

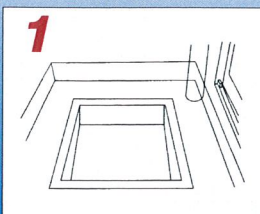
STEP 5

入居されている方のご了解を頂いて工事予定を立てます。

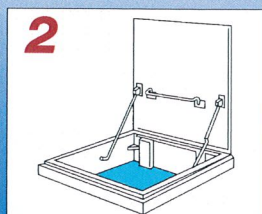
STEP 6

工事は生活時間かつベランダの作業ですが、入居されている方のプライバシーには充分配慮して行います。

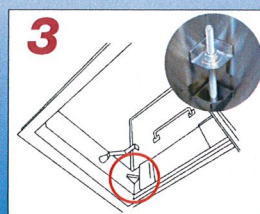
■ 施工手順



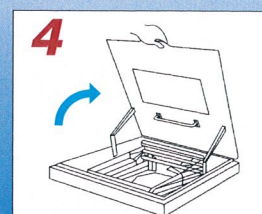
1 古くなったハッチの上下蓋など、改修ハッチが入る様に部品を取り外します。



2 上枠を、はめ込んでください。（注 取付方向を間違えないようにしてください。）



3 下枠を開口部の下からはめ込み、ボルトナットで4コーナーを固定します。



4 梯子を取り付けてください。使用方法銘板を貼ってください。



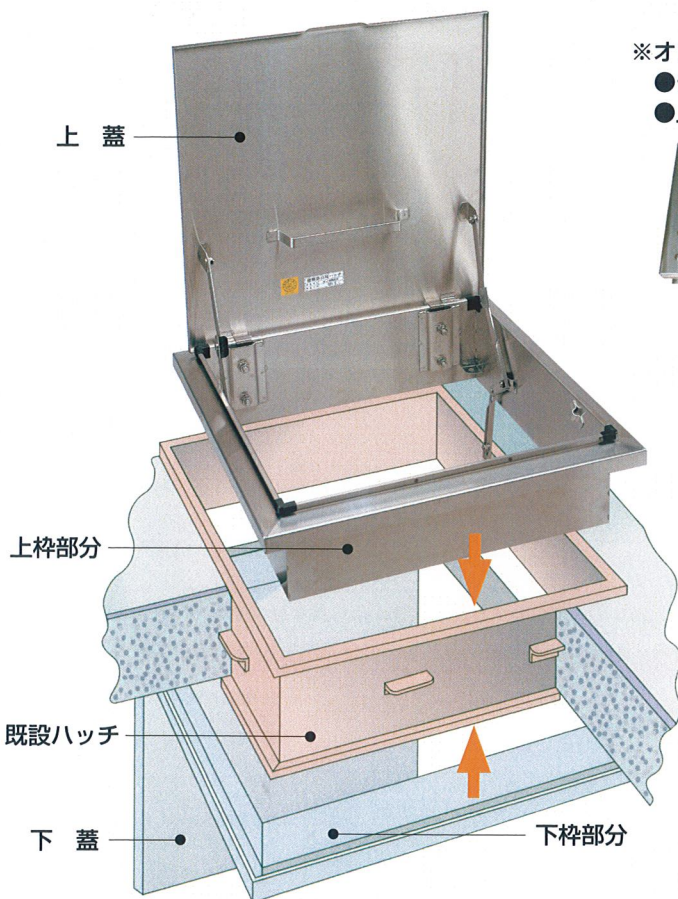
5 最後に枠のまわりをコーキングしてください。

使えますか？



yoshiike

- 既設ハッチの形状、寸法に応じて製作、設置します！
- オールステンレス製のハッチですので安全性、耐久性は万全です！
- 操作が簡単ですので、緊急時にも安心です！



※オプション（別途）

●チャイルドロック

●上蓋エンボス

●ぜんまいベル



寸法 W114 × H95 × D44mm / m
 警報音量（計測距離／m） 直後 82dB
 180秒後 81dB
 360秒後 80dB
 警報音量持続時間 540秒以上

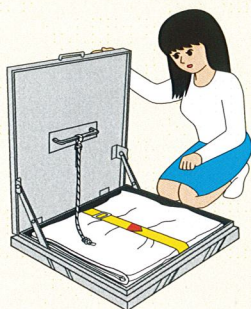
特 徴

- 安全性、耐食性にすぐれたステンレス（SUS304）の使用により信頼性UP!!
- 上下蓋を、同時開閉式にして操作性UP!!
- 巻き上げ機能付梯子の使用により、利便性UP!!
- 工事は既存ハッチの蓋、部品などを取り外し、改修ハッチを上下よりはさみこむフランジ工法によりスピード性UP!!

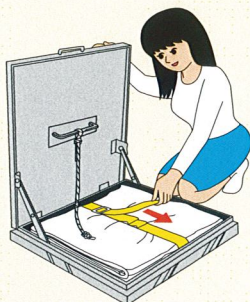
救助袋用 避難ハッチ SRA-VG

ハッチ用救助袋の構造は、より安心して避難できるように考慮して作られています。

ハッチ用救助袋操作方法



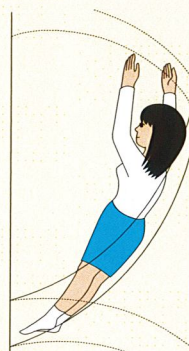
① 取手をにぎり、上ぶたを開く。
（下ぶたが連動して開く。）



② 下階の安全を確認し、ベルトの赤い部分を引いて救助袋を下階に落とす。



③ 救助袋が下階床に着いているかを確認し、腰掛布にすわってからつかまりベルトを握り、中に入る。



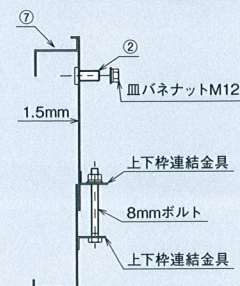
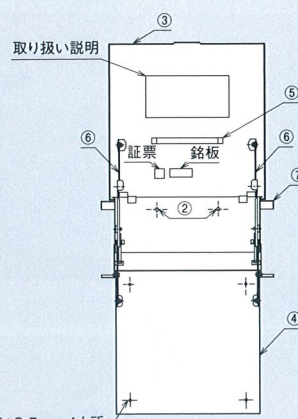
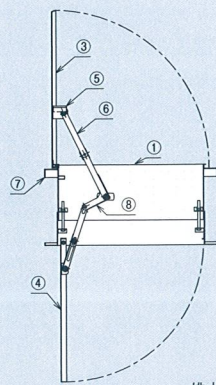
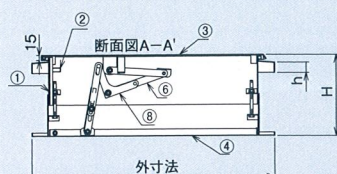
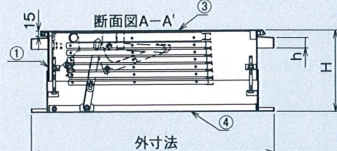
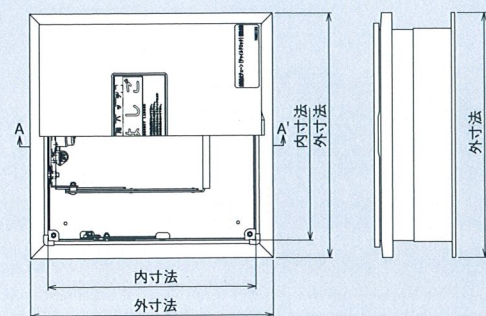
④ 降下する姿勢は足より入り、足をそろえ両手をあげて、滑り降りる。

ハッチ用救助袋の特長

- 構造は、らせん式のゆるやかな「すべり台方式」で、袋の中をまわりながらゆっくり降下します。
- 降下の際、入口部分で腰掛布に座り、姿勢を安定させてから、つかまりベルトを握り、足をそろえて滑り降ります。
- 降下速度は、1秒間に1m程度の速さなので、お年寄りやお子様でもスムーズにすべり降ります。
- 出口部の滑り面（滑降布）は、床に触れておらず、出口部分の底部には、保護マットが設けてあるので、着床衝撃が少なくなっています。
- 下階へ避難者が降りる際、外部が見えませんが、高さによる怖さはありません。
- 救助袋を降ろす際、風が強い場合でも、袋の底部におもり（砂袋）が内蔵されているので、風による影響が少なくなっています。
- 使用している生地は、特注した丈夫なポリエステル製で、むれ・水ぬれ・腐食等に強く、耐候性に優れています。

仕様：避難ハッチ

ハッチ仕様は、対象となる避難口の形状に応じて決定します。現場状況により異なりますので、ご了承ください。



取付部詳細

番号	名称	規格及び名称	種別	板厚ネジ径 (mm)
①	本体	JIS G 4305 冷間圧延ステンレス鋼板	SUS304	1.5
②	取付金具	JIS G 4308 ステンレス鋼線材	SUS304	M12
③	上蓋	JIS G 4305 冷間圧延ステンレス鋼板	SUS304	2.0
④	下蓋	JIS G 4305 冷間圧延ステンレス鋼板	SUS304	1.2
⑤	手掛け	JIS G 4306 冷間圧延ステンレス鋼帯	SUS304	3.0
⑥	アーム	JIS G 4306 冷間圧延ステンレス鋼帯	SUS304	3.0
⑦	フランジ	JIS G 4305 冷間圧延ステンレス鋼板	SUS304	1.5
⑧	上下蓋連動レバー	JIS G 4305 冷間圧延ステンレス鋼板	SUS304	1.5

仕様：避難梯子・救助袋

■スチール製はしご (吊り元 340 × 475)

型式	全長	適応段高	梯子厚さ	重量	梯子型式番号
UP-5 段	1,794	1,871 ~ 2,210	107	6.8	は第 19 ~ 6 号
UP-6 段	2,137	2,211 ~ 2,550	120	7.8	
UP-7 段	2,480	2,551 ~ 2,890	139	8.7	
UP-8 段	2,823	2,891 ~ 3,230	158	9.7	
UP-9 段	3,166	3,231 ~ 3,570	177	10.7	
UP-10 段	3,509	3,571 ~ 3,910	197	11.7	
UP-11 段	3,852	3,911 ~ 4,250	216	12.7	は第 18 ~ 6 号
UP-12 段	4,195	4,251 ~ 4,590	236	13.7	
M-13 段	4,561	4,591 ~ 4,960	275	20.1	
M-14 段	4,906	4,961 ~ 5,300	295	21.4	は第 19 ~ 18 号
M-15 段	5,260	5,301 ~ 5,640	315	22.6	
M-16 段	5,545	5,641 ~ 5,920	335	24.5	
M-17 段	5,893	5,921 ~ 6,260	355	25.8	
M-18 段	6,242	6,261 ~ 6,600	375	27.1	

■ステンレス製はしご (吊り元 340 × 475)

型式	全長	適応段高	梯子厚さ	重量	梯子型式番号
MS-6 段	2,137	2,211 ~ 2,550	120	7.6	は第 19 ~ 13 号
MS-7 段	2,480	2,551 ~ 2,890	139	8.6	
MS-8 段	2,823	2,891 ~ 3,230	158	9.6	
MS-9 段	3,166	3,231 ~ 3,570	177	10.5	
MS-10 段	3,509	3,571 ~ 3,910	197	11.5	
MS-11 段	3,852	3,911 ~ 4,250	216	12.4	
MS-12 段	4,195	4,251 ~ 4,590	236	13.5	

■特注品 スチール製はしご (吊り元 340 × 430)

型式	全長	適応段高	梯子厚さ	重量	梯子型式番号
Q-6 段	2,083	2,166 ~ 2,505	120	7.8	は第 19 ~ 14 号
Q-7 段	2,426	2,506 ~ 2,845	139	8.8	
Q-8 段	2,769	2,846 ~ 3,185	158	9.8	
Q-9 段	3,112	3,186 ~ 3,525	177	10.8	
Q-10 段	3,455	3,526 ~ 3,865	197	11.8	
Q-11 段	3,798	3,866 ~ 4,205	216	12.7	
Q-12 段	4,141	4,206 ~ 4,545	236	13.7	

■スチール製はしご (吊り元 333 × 458)

型式	全長	適応段高	梯子厚さ	重量	梯子型式番号
XC-5 段	1,777	1,790 ~ 2,200	115	7.3	は第 20 ~ 3 号
XC-6 段	2,122	2,130 ~ 2,550	121	8.3	
XC-7 段	2,465	2,480 ~ 2,890	140	9.3	
XC-8 段	2,808	2,820 ~ 3,230	159	10.3	
XC-9 段	3,151	3,160 ~ 3,580	178	11.3	
XC-10 段	3,494	3,510 ~ 3,920	197	12.3	
XC-11 段	3,837	3,850 ~ 4,260	216	13.3	
XC-12 段	4,180	4,190 ~ 4,610	235	14.3	

■救助袋

救助袋名称	適応階高	ハッチ枠厚 (Hmm)	救助袋認定型式番号
2.5 型	2,300 ≦階高< 2,800	217	ふV-001-1 号 (齊田産業)
3.0 型	2,800 ≦階高< 3,300		
3.5 型	3,300 ≦階高< 3,800		
4.0 型	3,800 ≦階高< 4,300	247	
4.5 型	4,300 ≦階高< 4,800		
5.0 型	4,800 ≦階高< 5,300		
5.5 型	5,300 ≦階高< 5,800	277	
6.0 型	5,800 ≦階高< 6,300		
6.5 型	6,300 ≦階高< 6,800		
7.0 型	6,800 ≦階高< 7,300	300	
7.5 型	7,300 ≦階高< 7,800		
8.0 型	7,800 ≦階高< 8,300		
8.5 型	8,300 ≦階高< 8,800	330	
9.0 型	8,800 ≦階高< 9,300		
9.5 型	9,300 ≦階高< 9,800		

※製品改良、改善のため、仕様その他を予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

金属性避難はしごについては、昭和52年2月28日付け自治省令第3号によって「型式失効」を明示しています。具体的には昭和50年7月以前に型式承認を受けている製品は、全て失効とし、特例(猶予)期間の終期は、平成8年2月となっています。避難ハッチとご一緒に避難はしごのチェック是非お勧めします。

すべての防災設備使用上のご注意

▲ 警告

死亡または重傷を負う可能性がある状況を示す。

● 取扱説明書を十分理解するとともに正しい取扱いを厳守し、緊急時の使用に備えてください。緊急時に、消火活動や停止活動および避難活動等の対応が容易になります。

● 定期点検制度に基づき、有資格者(消防設備士および消防設備点検資格者)による定期点検が必要です。有資格者による定期点検を行わなかった場合は正常な機能維持できず、緊急時の消火活動、避難活動に支障をきたします。

● 防災設備を使用場合は専門の業者に依頼のうえ、点検・整備を受けなければ、緊急時に正常な消火活動、避難活動ができません。

所轄の消防により取付方向が異なる場合がありますのでよく確認して下さい。

製造元



(社)全国避難設備工業会会員

有限会社 吉池製作所

〒116-0001 東京都荒川区町屋3-3-9
TEL 03-3892-2571 FAX 03-3892-2661

お問い合わせは下記代理店まで